

2020（令和2）年度
特定非営利活動法人アートNPOリンク 事業報告書

特定非営利活動法人アートNPOリンク

1. 事業の成果

今年度は、事務局を青森市から横浜市に移すとともに、私たちの団体とアートNPOの活動基盤整備に注力し、フォーラム事業、コーディネート事業、情報収集・発信・調査研究事業を中心として、事業を展開した。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア. 芸術・文化およびそれに関連するフォーラム事業

「毎月第1木曜日朝7時半のミーティング」として、理事及び会員を対象に、任意参加でカジュアルな月1回の定例ミーティングを実施した（原則として、毎月第1木曜日の朝7時半から8時半）。各自の活動に関する情報交換や、アートNPOリンクの事業内容や進め方のブレインストーミング、各事業の進捗状況を共有した。

上記の活動を軸に「アートNPO“Re-Link”ミーティング」に向けた機運の醸成をはかった。今年度はアニュアルレポートの制作には至らなかったが、次年度以降、記録に残すべき価値のある議論を続けていきたい。

日時：2020年7月2日から2021年3月4日まで／場所：オンライン／従事者人員：6人
／受益対象者：59人／支出額：0円

イ. 芸術・文化およびそれに関連する国際交流事業

該当事業なし。ただし、前述した「芸術・文化およびそれに関連するフォーラム事業」において、芸術文化分野の中間支援組織が果たすべき役割や持続可能な運営のあり方について、海外事例の現地調査を行うとともに、インターネットで情報を収集するなどした。

ウ. 芸術・文化およびそれに関連するワークショップ事業

「全国各地のアンケート調査係」と題したFacebookグループを形成し、会員等のネットワークを通じて、全国9地域での新型コロナウイルスによる文化芸術活動への影響を調査するための調査設計や集計分析に関する指導や助言、地域間の比較などを行った。調査の経緯や地域間の比較を取りまとめ、日本文化政策学会のオンラインによる企画フォーラム「全国各地のアンケート係顛末記」として発表を行った。

日時：2020年5月2日から12月19日まで／場所：オンライン／従事者人数：1人／受益対象者：58人（「全国各地のアンケート係顛末記」視聴者数）／支出額：0円

エ. 芸術・文化およびそれに関連する情報収集・発信・調査研究事業

コロナ禍において、芸術文化分野が大きな影響を受けており、各地において活動する芸術家や文化団体の状況把握が急務となった。

このうち、香川県丸亀市の委託による「丸亀市（仮称）みんなの劇場 管理運営・事業計画検討に関するアンケート調査」への協力を行った。調査結果は、以下のURLを参照。

<https://www.city.marugame.lg.jp/itwinfo/i37591/>

また、沖縄県芸能関連協議会の委託による「沖縄県内で活動する芸能実演家とスタッフの活動実態についてのアンケート調査」を行った。調査結果は、以下のURLを参照。

<https://www.okigeiren.net/>

日時：2020年7月1日から2021年3月31日まで／場所：オンライン等／従事者人員：1人／受益対象者：679人／支出額：486,750円

オ. 芸術・文化およびそれに関連するコーディネート事業

東京に本社を置く民間企業と協働し、アートによる社会貢献プログラムの構築に向けて、専門家の派遣や各種事業の企画コーディネート等を行った。アート分野で現在取り組まれている社会的課題・地域課題の整理や、助成事業を行った際の具体的な人員配置や広報、評価などのあり方についてさまざまなシミュレーションを行った。

コロナ禍の経済状況によりプログラムの全面展開は先送りとなったが、アートNPOの社会的ポジションの確立に向けて前進することができた。

日時：2020年7月1日から2021年3月31日まで／場所：オンライン、アートNPOリンク事務所等／従事者人員：1人／受益対象者：6人／支出額：475,475円

カ. 労働保険の保険料の徴収等に関する法律第4章の規定による労働保険事業組合としての業務

該当事業なし。

キ. その他、目的を達成するために必要な事業

該当事業なし。

(2)その他事業

なし。